

* ウクライナはますますたいへんな状況です。皆様どのようにお過ごしでしょうか。
* 今回は全体が私の近況報告です。

//// I N D E X //////////////////////////////////////

- ISO 情報……………ほんとにリアルでやるの？
ISO14068(カーボンニュートラリティ)と ISO/TC323 (サーキュラーエコノミー)
- LCAF からお知らせ…報告：賛助会員限定の「PEF の LCIA 研究会」第 1 回終了
初級研修と中級研修の日程発表
何でも相談会@オンライン」の結果
- 編集後記……………SCOPE3 は LCA ではない？

■■ ISO 情報 ほんとにリアルでやるの？ ■■ ——

ISO14068(カーボンニュートラリティ)の WG を 5 月 18 日 (月) ~20 日 (金) にパリでリアル会議でやるという案内がきました。現地時間 9:00~17:00 で実施というのです。リアルに参加できない人のためにオンライン参加も可能にするというのですが、日本時間 16:00~24:00 をオンラインで参加する気になれません。行くべきかどうか迷っています。

そこで、パリの友達に現地の状況を聞きました。以下が回答です。

---- 50代,M, 2022年4月20日@パリ----

As of today, Paris is currently ok from a weather point of view, and quite calm from a social point of view (results of the presidential elections will be next Sunday...). There are tourists, but not so much.

As far as COVID is concerned, no more mask is used (except in public transportations), the COVID (Omicron) circulates "freely" but the main curves are going down.

Freely means: 1213 people out of 100 k people have COVID, which is quite high. 116 310 COVID cases are detected each day.

Indeed, this stability is maybe due to the fact that we are "all" either with vaccines or having had COVID. Emergency beds are available at hospitals. There are 100 COVID related death every day.

Remark: my "COVID score" is the following: 2 pfizer injections + 1 COVID (october 2021) + 1 pfizer injection (end of January 2022) + 1 COVID (beg of april 2022).

So coming to Paris means you take a risk... If you decide to come to Paris, maybe we'll have a drink?!

今日現在、パリは天候的には問題なく、社会的にもかなり落ち着いています (大統領選の結果は来週の日曜日ですが・・・)。観光客もいますが、それほどでもありません。

COVID に関しては、もうマスクは使わず (公共交通機関は除く)、COVID (オミクロン) は「自由に」循環していますが、主要なカーブは下降しています。

自由にとというのは、10 万人中 1213 人が COVID を持っているということで、これはかなり高い数値です。毎日 116 310 人の COVID 患者が発見されています。

確かに、この安定感は、ワクチンを打っているか、COVID を持っているか、どちらかが「全員」であることが原因かもしれません。病院には救急ベッドが用意されています。COVID 関連死は 1 日 100 人程度です。

備考：私の「COVID スコア」は以下の通りです。ファイザーワクチン 2 回接種+COVID 陽性 1 回目 (2021 年 10 月) +ファイザーワクチン 3 回目接種 (2022 年 1 月末) +COVID 陽性 2 回目 (2022 年 4 月初旬) です。

パリに来るということは、リスクを背負うということですね…。もしパリに来ることになったら、一杯やりませんか？ (Deepl 自動翻訳+稲葉の注釈)

また、TC323 (サーキュラーエコノミー) のそれぞれの WG 会合と総会 (全体会合) を 9 月 26 日(月)~30 日 (金) にルワンダでリアルに実施することが決まったという連絡がきました。こちらはちょっとだけ慎重で、リアルで参加する国がどれくらいあるか調査中です。

ISO の会合は、欧州を中心に、コロナ前の状況に戻ってきているように思います。交渉ごとですから、休憩中の会話や会議後の懇親が必要という認識であろうと思います。オンラインの便利さと効率性をどのように残すかが今後の課題と思います。

■■ LCAF からのお知らせ ■■

○賛助会員限定の PEF の LCIA 研究会を実施しました。

欧州委員会の環境フットプリント (PEF : Product Environmental Footprint) の環境影響評価手法 (LCIA) を調査する第 1 回研究会を 4 月 20 日 (水) に実施しました。気候変動、オゾン層の破壊、光化学オゾン、水について座長の産業技術総合研究所・本下氏の解説の後に議論しました。これから毎月 1 回のペースで PEF が指定している 16 の影響領域の評価方法を勉強します。

○しばらくお休みしていた「なんでも相談会」を 4 月 11 日(月)13:00-14:00 に行いました。参加者 8 名でしたが、毎回ご参加の方とは「オンラインの顔なじみ」の感覚になってきました。

○2022 年度の LCA の研修を以下のように実施します。

・初級研修：2022 年 4 月 27 日と 28 日午前：参加申し込みを締め切りました。

・中級研修：2022 年 5 月 25 日と 26 日午前

詳細は、<https://lcaf.or.jp/seminar.html> でご覧ください。

■■ 編集後記 ■■

春ですね。我が家のフリーズ炊も満開です。

LCAF は、LCA 研修だけでなく、LCA 実施のご相談、LCA 報告書の第 3 者検証などの事業を実施しています。が、どういう訳か Scope3 に関するお問い合わせがほとんどありません。GHG プロトコルの SCOPE3 の原本を見ていただくとお分かりのように、私は、SCOPE3 のステアリングコミッテイのメンバーの一人で、日本に Scope3 を紹介した張本人なんですが。。。

ある人にこれを話していたら「LCA と Scope3 が別物と思っている人が多いので」と言われました。「えー、そうなんですか?!」と、目から鱗 (というより、目から魚くらいの) 衝撃でした。「LCA の考え方を理解していないと、Scope3 は実施できない。」、逆に言う「Scope3 を実施するためには LCA の理解が必要」、さらに「LCA の考え方を理解していれば、Scope3 を理解するのは簡単」、いずれの言い方をするにせよ「LCA の延長上に Scope3 がある」ということだと思えます。

早速ですが、LCAF の事務局に「Scope3 は LCAF の事業の対象である」ことをホームページに書くように指示しました。LCAF は広報が弱いので、ホームページがいつ更新されるかわかりませんが。。。

春だと思っていたら、天気予報では、東京ではこれから数日雨模様で「梅雨の先取り」と言っています。これも気候変動なのでしょうが？

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見、ご感想、本メールマガジンの解除のご連絡はこちらまで
lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで (読んで) ください)

〒71-0014 東京都豊島区池袋 2-36-1

インフィニティ池袋 8F52

電子メール : lcaf-contact@lcaf.or.jp

URL:<https://lcaf.or.jp/>